

日医発第124号（保27）
平成25年5月9日

都道府県医師会長 殿

日本医師会長
横倉義武

検査料の点数の取扱いについて

平成25年4月10日に開催された中央社会保険医療協議会（中医協）総会において新たな臨床検査を保険適用することが了承され、それに伴い、今般、厚生労働省保険局医療課長から別添1のとおり取り扱う通知が示され、平成25年5月1日から適用となりました。

本通知の内容について、本会において別添2のとおり整理いたしましたので、貴会会員に周知くださるようお願い申し上げます。

なお、本件につきましては、日本医師会雑誌7月号に掲載を予定しております。また、日本医師会ホームページのメンバーズルーム中、医療保険の「新たに保険適用が認められた検査・医療機器等」に掲載いたします。

（添付資料）

1. 検査料の点数の取扱いについて
（平25.4.30 保医発0430第3号 厚生労働省保険局医療課長通知）
2. 新たに保険適用が認められた検査（日本医師会医療保険課）

地方厚生(支)局医療課長
都道府県民生主管部(局)
国民健康保険主管課(部)長
都道府県後期高齢者医療主管部(局)
後期高齢者医療主管課(部)長

}

殿

厚生労働省保険局医療課長
(公印省略)

厚生労働省保険局歯科医療管理官
(公印省略)

検査料の点数の取扱いについて

標記について、「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について」(平成24年3月5日保医発0305第1号)の一部を下記のとおり改正し、平成25年5月1日から適用しますので、貴管下の保険医療機関、審査支払機関等に対して周知徹底を図らるたい。

記

1 別添1第2章第3部第1節第1款D023(6)を次のように改める。

(6) HPV核酸検出

ア 「5」のHPV核酸検出は、予め行われた細胞診の結果、ベセスダ分類上ASC-US(意義不明異型扁平上皮)と判定された患者に対して行った場合に限り算定できる。なお、細胞診と同時に実施した場合は算定できない。

イ 当該検査をHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)と併せて実施した場合は、主たるもの1つに限り算定する。

2 別添1第2章第3部第1節第1款D023中(19)を(20)とし、(7)から(18)までを(8)から(19)までとし、(6)の次に次のように加える。

(7) HPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)

ア HPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)は、区分番号「D023」微生物核酸同定・定量検査の「5」HPV核酸検出の所定点数に準じて算定する。

イ 当該検査は、本区分「5」のHPV核酸検出の施設基準を届け出ている保険医療機関のみ算定できる。

ウ 当該検査は、予め行われた細胞診の結果、ベセスダ分類上ASC-US(意義不明異型扁平上皮)と判定された患者に対して行った場合に限り算定できる。なお、細胞診と同時に実施した場合は算定できない。

エ 当該検査をHPV核酸検出と併せて実施した場合は、主たるもの1つに限り算定する。

(参考：新旧対照表)

◎「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について」(平成24年3月5日付け保医発0305第1号)

改正後	現 行
<p>別添1 医科診療報酬点数表に関する事項</p> <p>第2章 特掲診療料 第3部 検査 D023微生物核酸同定・定量検査 (1)～(5) 略 (6) <u>HPV核酸検出</u> ア 「5」のHPV核酸検出は、予め行われた細胞診の結果、ベセスタ分類上ASC-US(意義不明異型扁平上皮)と判定された患者に対して行った場合に限り算定できる。なお、細胞診と同時に実施した場合は算定できない。 イ <u>当該検査をHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)と併せて実施した場合は、主たるもの1つに限り算定する。</u> (7) <u>HPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)</u> ア HPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)は、区分番号「D023」微生物核酸同定・定量検査の「5」HPV核酸検出の所定点数に準じて算定する。 イ <u>当該検査は、本区分「5」のHPV核酸検出の施設基準を届け出ている保険医療機関のみ算定できる。</u> ウ <u>当該検査は、予め行われた細胞診の結果、ベセスタ分類上ASC-US(意義不明異型扁平上皮)と判定された患者に対して行った場合に限り算定できる。なお、細胞診と同時に実施した場合は算定できない。</u> エ <u>当該検査をHPV核酸検出と併せて実施した場合は、主たるもの1つに限り算定する。</u> (8)～(20) 略</p>	<p>別添1 医科診療報酬点数表に関する事項</p> <p>第2章 特掲診療料 第3部 検査 D023微生物核酸同定・定量検査 (1)～(5) 略 (6) 「5」のHPV核酸検出は、予め行われた細胞診の結果、ベセスタ分類上ASC-US(意義不明異型扁平上皮)と判定された患者に対して行った場合に限り算定できる。細胞診と同時に実施した場合は算定できない。 (7)～(19) 略</p>

新たに保険適用が認められた検査

平成 25 年 4 月 30 日 保医発 0430 第 3 号（平成 25 年 5 月 1 日適用）

測定項目	HPV核酸検出（簡易ジェノタイプ判定）
商品名	①コバス 4800 システム HPV ②アキュジーン m-HPV
区分	E 3（新項目）
測定方法	リアルタイムPCR法
主な測定目的	子宮頸部細胞中のヒトパピローマウイルス16型、18型及びその他12種類のハイリスク型DNAの検出
参考点数	D023 微生物核酸同定・定量検査 5 HPV核酸検出 360点
関連する留意事項の改正	※「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について」（平成 24 年 3 月 5 日保医発 0305 第 1 号）の別添 1（医科診療報酬点数表に関する事項）の第 2 章（特掲診療料）を以下のように改める。 ----- 第 3 部 検査 D 0 2 3 微生物核酸同定・定量検査 (1)～(5) 略 (6) <u>HPV核酸検出</u> ア 「5」の HPV核酸検出は、予め行われた細胞診の結果、ベセスダ分類上 ASC-US（意義不明異型扁平上皮）と判定された患者に対して行った場合に限り算定できる。 <u>なお、細胞診と同時に実施した場合は算定できない。</u> イ <u>当該検査を HPV核酸検出（簡易ジェノタイプ判定）と併せて実施した場合は、主たるもの 1 つに限り算定する。</u> (7) <u>HPV核酸検出（簡易ジェノタイプ判定）</u> ア HPV核酸検出（簡易ジェノタイプ判定）は、区分番号「D 0 2 3」微生物核酸同定・定量検査の「5」 <u>HPV核酸検出の所定点数に準じて算定する。</u> イ <u>当該検査は、本区分「5」の HPV核酸検出の施設基準を届け出ている保険医療機関のみ算定できる。</u> ウ <u>当該検査は、予め行われた細胞診の結果、ベセスダ分類上 ASC-US（意義不明異型扁平上皮）と判定された患者に対して行った場合に限り算定できる。なお、細胞診と同時に実施した場合は算定できない。</u> エ <u>当該検査を HPV核酸検出と併せて実施した場合は、主たるもの 1 つに限り算定する。</u> (8)～(20) 略 <p style="text-align: right;">（変更箇所下線部）</p>

（日本医師会医療保険課）

